

**ファミリー産院グループにてご出産され、
妊娠時に妊娠糖尿病と診断された産後 1-3 年目のお母さま方
「末子出産 3 年目までの妊娠糖尿病既往女性の血糖管理に
影響を及ぼす要因の検討」へのご参加のお願い**

【研究課題】

末子出産 3 年目までの妊娠糖尿病既往女性の血糖管理に影響を及ぼす要因の検討

【研究機関名及び研究責任者氏名】

研究機関 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

研究責任者 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授 渡邊浩子

研究分担者 ファミール産院グループ 理事長 杉本雅樹

ファミール産院 つだぬま 厨房部 相葉友里

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 博士前期課程 2 年 小川春風

【研究期間】

2024 年 9 月～2025 年 3 月 31 日

【対象となる方】

2020 年 9 月～2023 年 8 月に当院で出産し、妊娠糖尿病と診断された産後 1～3 年目の方

* 現在妊娠中の方、精神疾患治療中の方は対象となりません。

【研究の意義】

妊娠糖尿病の既往のある女性における産後の血糖管理に影響する要因を明らかにすることで、産後の血糖管理の改善や産後早期からの継続した血糖管理に繋がられ、2 型糖尿病をはじめとした代謝疾患の早期発見、合併症の予防に繋がると考えます。

【研究の目的】

本研究は、末子出産 3 年目までの妊娠糖尿病の既往を持つ女性の血糖管理に影響する要因を明らかにすることを目的としております。

【研究の方法】

本研究は、大阪大学医学部倫理委員会の承認を受け、大阪大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。

本研究の該当者をカルテより抽出し、研究分担者(小川春風)より該当者に研究協力依頼チラシ、依頼文を送付させていただきます。

当院から大阪大学に情報提供する内容は、氏名、住所、妊娠中の経過(妊娠糖尿病の診断有無)です。

チラシに記載の URL または QR コードからアンケートの内容をご確認の上、本研究にご協力をお願いいたします。

【個人情報の保護】

本研究の目的以外で使用しないこと、情報が漏洩しないよう収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後 5 年間保存されること、保管期間終了後には、データ廃棄されることを口頭、文書にて確認済みです。

この研究に関する費用は、大阪大学大学院医学系研究科の運営費から支出されます。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

2024 年 8 月

【問い合わせ先】

研究分担者:ファミリー産院グループ・理事長 杉本雅樹

連絡担当者:ファミリー産院 つだぬま・厨房部 相葉友里

〒275-0028 千葉県習志野市奏の杜 3-4-17

ファミリー産院 つだぬま

電話:047-489-5550